

## 特設人権相談所

日 時 1月9日(木) 午前9時30分～正午  
 場 所 大島庁舎  
 相談内容 差別、いじめ、嫌がらせ等人権に関する問題  
 相談員 人権擁護委員  
 ※悪天候により警報等が発令された場合は中止になることがあります。  
 福祉課 ☎0820 (77) 5505

## 令和2年版 山口県民手帳販売中

役場(政策企画課、各総合支所・出張所)で、令和2年1月31日(金)まで購入できます。

サイズ 縦14×横8cm

販売価格 550円(税込み)

政策企画課 ☎0820 (74) 1007

## 山口県の最低賃金

必ずチェック最低賃金! 使用者も、労働者も。

山口県最低賃金	時間額	効力発生日
	829円	R 1.10.5

  

特定(産業別)最低賃金	時間額	効力発生日
鉄鋼業、非鉄金属製錬・精製業、非鉄金属・同合金圧延業、非鉄金属素形材製造業	966円	R 1.12.15
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	892円	
輸送用機械器具製造業	936円	
百貨店、総合スーパー	852円	

詳しくは、山口労働局労働基準部賃金室へお問い合わせください。☎083 (995) 0372

## 元気でか？

## こちらは 保健師です

人生の終わりまで、  
どのような人生を歩みたいですか

皆さんは、ご自身が最期を迎える場所を、どのように考えていますか。

- ① 自宅で最期を迎えたい
- ② 自宅で最期を迎えたいが、実際には難しいと思う
- ③ 自宅で最期を迎えたいし、実際にそうなると思う
- ④ そんなことは考えたことがない

10月12日に「いきいきと生きていくために」人生の最期を考えること」というテーマで、在宅医療講演会を開催しました。講師は、広島県北広島町雄鹿原診療所の所長 東條環樹先生をお招きしました。東條先生は、往診地区にスキー場が5カ所もある芸北地区で地域医療を推進している医師で、テレビや新聞でも活躍が紹介されています。

講演は、人生の最期がテーマでしたが、まずは元気で過ごすために、自分の身体に関心を持ち、自分の健康は自分で守ること、もう1つは、元気なときから、残りの人生をどう過ごしたいのか考えることが大切だと教わり

周防大島町保健師

松本 可奈子

## ■問い合わせ

介護保険課 地域包括支援センター

☎0820 (73) 5506

ました。人生の最期を考えておくことは、厚生労働省も「アドバンス・ケア・プランニング(愛称「人生会議」)として推奨しています。東條先生より、その考え方について、

- ① 本人の意志が最優先であること
- ② 十分に話し合っ、みんな(家族や、支援している専門職を含む)で決めること
- ③ 途中で気持ちの変化があっても、それを受け入れること

として、元気なうちから、お互いがどういう考えを持っているのか、何を心配しているのかを共有しておくことが大切であると解説してくださいました。

講演会場では、「家族にいつそういった話をすれば良いか」と質問がありました。話をしたいと思った時がその時です。今年の年末年始など、ご家族が集まった際に、ご自身の今後のことについて話をする機会を持つてみませんか。

周防大島町でも、皆さまが医療や介護が必要になっても住み慣れた地域での生活を続けることができるよう、在宅医療を推進しています。将来の医療や介護のことで不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。